

第224回 春風狂句

2月号の笠は

「欲の出た」「また今度」です。

お一人三句以内で1月10日(水)までに
受付にお出してください。お待ちしております。



選者 国府 良貝

◎ 辛抱しなつせ 人生山あり 谷ありよ 令志 タエ子

(評釈) ほんなこつ 人生は万事塞翁が馬。あとでしみじみ
思い出すと あん時の苦労が 今の自分ば作った というような
話は これまで 何度も 聞いてきた。実際に 地道に
努力してきた人の言葉は 味わい深かね。

◎ 辛抱しなつせ まあだ子供が こまかけん 鳥藤子

(評釈) 何十年も連れ添つとつと 別れようと思つたこつは
数えきれん。ただ金婚式ば迎えて思うこつはその一つ一つが
よか思い出で 二人でしみじみ そがん話ばすつとが
一番の楽しみ。今は本当に 幸せ一杯。

こがん よか思いのでくつとに ちよつとしたこつで
別れてしまうなんか 気の知れん。ほんなこつ もつたいなか。

◎ 辛抱しなつせ 昨日のカレーの 残つとる お米

(評釈) 若つかもんが 物ば大切にせん風潮はいかんぞ。なか時の
大変さ あるこつのありがたさの 分からんやつは きつと先々
苦労すつぞ。一日おいたカレーなんか 味もようなつて
一番おいしかじやなかね。何でん 最後まで食べきる習慣は
日本人の美德よ。

◎ 辛抱しなつせ トイレはオルが 見つけ出す 街なか男

(評釈) 知らん土地で 急にトイレに行こつたら
ほんなこつ大変。年とつと我慢できんこつなるけん 切実よ。
今度駅の新しいゅうなつたら どつかんでん 分かるこつ
黄色の点滅灯ぐらいつくつとよかよ。そして特に
女性トイレなんか 数ばいっばい増やさなんよ。

◎ ぶらり旅 鈍行列車も よかごたる 吉岡 広子

(評釈) 昔 駅につくと 座席のところの窓ば開けて 弁当ば
買いよつた。イスは固して 乗り心地は悪かつたばつてん
何か 土地土地の空気に触れる 風情のあつて よかつたなあ。
時間のできたら 全国ゆつくり 回つてみよかね。

◎ ぶらり旅 のんびりゆつたり 行くばいた 杉野 裕志

(評釈) 以前、作詞家の阿久悠さんが 今は何でも便利さ優先
スピード重視の時代になつてしまつたが 私たちが
ついまたいで通り過ぎてゐる中に もつと大切なものが
あるのでは。」という話をされていた。
のんびり ゆつたりした旅には きつと 素敵な出会いの
あるごたる気のする。

◎ ぶらり旅 定年の秋 よか気分 脇田 五典

(評釈) 体の動くうちに やり残した やりたかつたこつば
実現したかよね。ずつと働きづめで よう頑張つてきた。
何か晴々とした気分で 気ままな秋の旅を 味わつてみたか。
心ゆくまで 行つておいでよ。大好きなお父さん。(娘より)
たくさんの方の投稿をありがとうございます。

評釈は、勝手にイメージで 書かせていたんでありますので、
お気に召さない場合があるかもしれませぬ。お許しください。
初めての投稿もお待ちしております。

次回は年賀号のため、狂句は
お休みです。2月号をお楽しみに。

